

曾於市 Soo CITY 話題の広場 Topics

春日流の晴れ舞台



8月21日、末吉総合センターで自主文化事業の春日流舞踊公演「一期一会」を開催しました。

春日流は、宗家を北九州に置き、九州各県はもとより、全国的に流舞を広げているとても大きな流派です。

当日は天候にも恵まれ遠くは北九州市から来られた方々もおられ、立見席がでるほどの大入りとなりました。曾於市からも一部出演があり、たくさんの観客の前での演舞にととても満足そうな様子でした。

舞台ではプロの艶やか舞踊の舞が披露され、観客席からはどよめきや拍手喝采が巻き起こっていました。

教育委員会では、今後も市民の皆様に喜ばれる自主文化事業を実施していきたいと考えておりますので、たくさんのご来場をお待ちしております。

曾於市消防団財部方面隊中央分団消防フェスタ



実際に消防服を着ての放水体験

8月21日、財部中央分団主催による消防フェスタが行なわれました。

これは、地元住民や子供達を中心に、日頃の消防団活動の紹介や消防団員とのふれあいを目的としたもので、当日は暑い中にもかかわらず、多くの親子等が参加し、消防車両の乗車体験や、放水体験、放水シャワー水遊びなどが行なわれ、楽しみながらの消防活動体験ができました。

参加した多くの子供達は、この体験を通じ、地元で活躍する消防団員への信頼や、防災意識がより高められたことと思います。

「曾於市を学ぼう ①末吉の歴史について」の講演会開催



講演会の様子

高木先生
五輪の塔について説明中の様子



曾於市観光特産開発センター（以下「センター」という。）は、8月27日、末吉総合センターで「曾於市を学ぼう ①末吉の歴史について」の講演会を開催しました。

この講演会は、曾於市には興味ある歴史・文化財・民話等が沢山ありますが、市民にあまり知られていないため、曾於市の歴史・文化財等を市民やボランティアガイドに知って頂こうと行われたものです。

講師は高木秀久先生で、加久藤カルデラや始良カルデラの火砕流、末吉での戦い、五輪の塔・六地藏塔・田の神さあ、民話等について幅広く説明されました。

講演会終了後は、熊野神社（鬼追い・五輪塔（深川氏の墓）・仁王像（光明寺））を現地研修しました。

なお、センターは、第2段・3段として財部町と大隅町の歴史についても予定しています。沢山のご参加をお願いします。

車イスがピカピカに



9月3日、曾於第6団ボーイスカウト隊が末吉岩南地区にある特別養護老人ホーム「輪光無量寿園」で車イス磨きの奉仕活動を行いました。

この車イス磨き奉仕活動は、毎年敬老の日の頃に行っているもので、今年で29回目を数えます。

当日は、スカウトと指導者が車イス約20台の清掃にとりかかり、1台ずつ磨きあげていきました。

参加したスカウトからは、「サビなどを落とすのは大変だったけど、おばあさんがとても喜んでいてのを見てとても嬉しかった。」と満足した声が聞かれました。

ボーイスカウトでは、仲間を広く募集しています。小学校1年生から高校生までどなたでも入隊可能です。入隊までのご案内は曾於第6団ブログ（グーグルで検索）を是非ご覧下さい。

FRIEND JAM NIGHT IN SOO 盛大に開催



9月11日、大隅文化会館でFRIEND JAM NIGHT IN SOOが河口恭吾さん、玉城千春さん、キマグレンさんの3組のアーティストをむかえ盛大に開催しました。

3組のアーティストとも歌唱力はもちろんのこと、イメージどおりのユニークなトークに会場はどんどん引き込まれていました。

会場は、懐かしさを感じる曲やノリのいい曲の数々に幾度となく歓声があがり、コンサート終盤には観客全員が総立ちになるほどの大盛り上がりでした。

舞台裏でも、3組ともとてもフレンドリーで、気軽に声をかけて頂けるととても好感の持てるアーティストでした。観客は、3000円という破格値で3組の完全燃焼の姿と華麗な歌声を聴くことができとても満足そうでした。

地域に安心・安全を



9月9日(金)、財部建設同志会(上集孝一会長)の皆さんが、財部町内の県道3箇所の高所雑木払いや車道等の草払いをボランティアで行いました。

この作業は、同会が地域を安心・安全に通行できるよう毎年行っているもので、今年で14回目になります。

県道2号線正ヶ峯団地前は、通行量も多く、枯れ枝や木の実により、通学等に支障をきたしていたため、地元からもどうかできないかという要望もあり、大型クレーン等を使いNTTや九電にも協力を頂きながらの大掛かりな作業でした。

地元の方々からは、「お陰で見通しも良くなり安心して通行できます。」と喜びの言葉も頂き、上集会長は、「地域の安心・安全のために少しでもお役に立つことができれば」とおっしゃっていました。

南日本新聞社との新聞活用等協定調印式



8月29日、曾於市大隅支所会議室で、南日本新聞社との新聞活用等に関する協定調印式が行われました。

これは、小学校では23年度から中学校でも24年度から新学習指導要領の中で、新聞を授業に活用する事が盛り込まれており、新聞社が発行する新聞や人材を積極的に活用することで、曾於市の児童・生徒の言語活動の充実や教育の向上に寄与する事を目的としています。

南日本新聞社から「積極的に活用してください。」との申し入れがありこれが実現しました。

近年、子供達の言語力低下が叫ばれており、「この協定調印式が、これを打開するきっかけになればいいですね。」と市教育委員会も喜んでいました。

宇津木人形の前で新たな誓い



8月28日、大隅運動公園グラウンドで宇津木妙子杯ソフトボール交流会が開催されました。

これは、平成20年度実施した「トップアスリート派遣指導事業ソフトボール教室」でお招きした宇津木妙子さんと訪問した市内外6小学校、総勢約100名が参加して開催したもので、宇津木さんと交流した感動を思い出し、さらに積極的にスポーツに親しみ「夢」実現のために走り続けることを目的に開催されたものです。

この大会は、宇津木さん本人はお仕事の都合で参加できませんでしたが、宇津木さんとの3つの約束、『1「夢」実現のためには努力する。2「努力」は裏切らない。3「夢」実現に一生懸命頑張る。』を宇津木さんをかたどった人形の前であらためて誓い、子供らしい元気あるハッスルプレーが随所に見られました。

大震災を教訓に 日頃からの防災・救急意識の高揚を



9月4日、末吉総合センター駐車場で、約200名の消防団員等が参加した、曾於地区総合防災訓練が開催されました。

この訓練は、大規模災害等が発生した際、防災関係機関が相互に連携を持ちながら、それぞれの施設及び人員が能力を最大限に発揮し、迅速且つ適切な防災体制を確立する事を目的としています。

当日は、大隅半島を震源とする震度6の強い地震により、火災、崖崩れ、家屋の倒壊等の複数の災害が発生したとの想定での訓練が行われました。

参加した隊員達は、それぞれの役割をきびきびとそして真剣に取り組んでいました。

東日本大震災のようにいつ何時このような災害に遭遇するかわかりません。このような取組みが、住民に日頃からの防災・救急意識を高めるきっかけになればいいですね。

すべての人に感謝！！夢はオリンピック



8月24日、8月の全国高校総体柔道競技女子個人78kg超級で、見事優勝の栄冠に輝いた末吉町諏訪小出身の稲森奈見さんが優勝報告に訪れてくれました。

稲森さんは、5歳のときから父親の影響で柔道を始め小学校から頭角を現し、小・中学校と全国大会出場を果たしています。県内では常に敵なしで、末吉中を2度全国大会に導き、自身の個人戦でも全国ベスト8に入っていました。

高校は、幼少時代から共に切磋琢磨してきた姉、美咲さんの通う鹿児島南高校に進学し1年生からポイントゲッターとして団体戦全国3位に貢献しました。

高校時代の監督は、地元末吉中出身の鮫島将太郎監督の指導を受け、幼少のころから指導を受けた現末吉柔道スポーツ少年団監督の鮫島芳美さんと親子2代に渡り奈見さんは指導を受ける事が出来たそうです。

鮫島将太郎監督は、「奈見さんは、大柄な体格ではありませんが、とても器用なところがありすばらしい選手です。同郷で、自分と同じ道を歩んでくれた後輩が全国の舞台上で力を十分発揮し、優勝してくれたことにとても感激しています。」とうれしそうに話されていました。

市長は、「小学校時代から何度も市長室を訪問し、うれしい報告をしてくれています。今回の報告は、今まで以上にとてもうれしく思います。たくさんの期待に応えるのは大変ですが、頑張ってください。今後の活躍を期待しています。」と労いの言葉をかけました。

奈見さんは、「団体戦の敗戦の悔しさで気持ちが沈んだ時もありましたが、鮫島監督のすべて決勝と思えという激で吹っ切る事ができました。今まで指導や応援して下さった方々に少しは恩返しができたと思います。この結果に満足せず、もっともっと練習を積み重ね、オリンピックに出場できる選手をめざしていきたいです。」と笑顔の中にもとても力強い表情で話してくれました。